

R5年度 「地域生活応援会議」 事後アンケート（自由記載）

(R5.4~R6.3)

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

本日のケースのように、独居の方は生活が見えてこないところがあるので、皆さんの考え方、見方を教えていただきたいです？

応援会議にて、多職種の方からアドバイス頂き、今後の支援に活用できる内容がもりだくさんでした。有難うございます。
医療連携や社会資源の情報収集などの不足を今回改めて感じさせられました。
特に医療職から上手く情報収集を行っていく為、普段の業務から注意していくモニタリング内容について、アドバイス・助言を頂き、大変勉強になりました。
応援会議のように、現在進行中のケアマネジメントについて、振り返りにて不足部分へのアドバイス・助言などが頂けると有難いです。

アルコール依存や精神疾患の方への関りの仕方を教えて頂きたいです。

私は、モニタリング時に、本人を目の前にすると、なかなかACPの話を持ち出しにくく上手く話が出来ていません。他のケアマネさんは積極的に話をしてみえるんだなーと感じました。
今後の、個人の課題として桑名市の冊子も活用し、取り組んでいきたいです。ありがとうございました。アドバイザーさんのお言葉が優しくて、心に染み入りました。

せっかく専門職が集まっているので、それぞれ多くの視点からのご指摘や提案などお聞きしたかった。特に持病や足腰の痛みを抱えている方への無理のない有効なりハビリティについてなど助言をお願いしたい。

利用者様に対してのサービスや社会資源等への動機づけについて、ケアマネージャーの腕の見せどころという部分なのでしょうが、難しいと感じることが多いです。
ケアマネージャーが地域活動の窓口となる為に、利用者や家族と一緒に動いてまわることが出来れば理想的だとは思いますが、就労時間内で行うことが難しく、実際にはパンフレットの配布やインターネットを用いて一緒に調べる程度の支援でしか、関わっていないと感じています。情報がある程度、把握する必要があることはもちろんだとは思いますが、地域を活用した誘いかけの成功事例等があれば、助言いただきたいと思えます。

本日の会議にて、元気になってきた利用者様に対して、地域の社会資源に繋がらないといけないとまで考えていた自分に対して、「本人の気持ちを一番に尊重して、無理に誘い掛けしなくともいいのでは…」と言って頂いたことは、とても気持ちが楽になりました。
皆様から温かい助言をいただき、良い会議でした。有難うございます。

地域の独自の支援についての情報提供が得られと良いと考えます。

現在の応援会議では周辺症状がまだない、もしくは軽度であることが想定されます。今回のケースの様に鬱の既往があると初期症状が見逃されやすいもしくは、混同されやすいと思えます。見逃されてきたため中度になってたかならないように、精神科領域からの認知症重症化予防の取り組みや支援方法などが知れたら嬉しいです。

複合課題のあるかたなどは、必要な職種の方から、アドバイスを受けて、よりよい方向に支援していければと考えます。色々な方面の職種のかたから助言をいただきたいです。

R5年度 「地域生活応援会議」 事後アンケート（自由記載）

(R5.4～R6.3)

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

今は思いつかないのですが、困難事例であったり、地域資源の事等、自分の所属する事業所以外でも相談できる場所（包括や保険者等）があるのは、方向性も見えてきたり、心強く感じます。

今日の薬剤師さんの薬の説明はわかりやすかったです。
薬剤師さんが肺炎にならないようにするために口腔ケアや歯科受診は必要というアドバイスも良かったです。56歳の方のこれからの生きがいや意欲につながるようなものが見つかるといいなと思いました。

応援会議に参加することで、色々な方からの助言をいただくことができ、新たな気づきが得られました。
ありがとうございました。

福祉用具の利用についての助言など

介護保険以外の負担が少なく利用できる外出支援のサービスやボランティアなど。

医療職やリハ職、薬剤師などから、疾患や症状などへの具体的なアドバイスはありがたいです。主治医とCMの連絡票のように個別ケースについてのご助言をいただけたらいいな、と思いました。

ケアプランについて、目標設定やアセスメント内容についてもアドバイスを受けたい。
専門職からの意見はとても役に立ちます。これからも自分が気づいていないことが多いのでアドバイスを受けたい。

総合事業の通える回数の制限があるため、他に参加できるような地域資源を知っていきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

貴重な意見をいただきありがとうございました。

- ・薬剤師さんへの相談ポイント（副作用、体調面の変化、腎機能等）
- ・通い、訪問などの社会資源の有効活用

本日のケースのように家族の存在で適切なサービスがご利用できない時、家族から頻回な電話対応など誰かに相談し聞いて欲しい時があります。ケアマネが付いていると「ケアマネに相談しな」と言われることが多いようですが保険外の何から何まで対応はたった1人の担当ケアマネでは酷すぎますので助けて下さい。

時間がすぐ経っていきまとめるのが大変だなと思いました。

R5年度 「地域生活応援会議」 事後アンケート（自由記載）

(R5.4~R6.3)

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

薬剤師です。薬剤師は業務を通して患者・利用者と医師を始めとした医療介護の他職種の方々、医療介護に関わる行政の方々と繋ぐハブ役を担うよう求められています。逆に言うと薬剤師はハブ役として積極的に介入していかないと患者・利用者様の必要十分な情報を他職種の方々収集しきれない懸念もあります。皆様には積極的に薬剤師にコンタクトを取っていただくと同業者として助かります。薬剤師って結構内向的で、でも頼られるとお節介なぐらい介入してくる方は意外と多いと信じております。

ケアマネが気になることと応援会議参加し多職種の視点でいただくアドバイスとはボリュームが違うと感じるので、普段から応援会議だったら、とイメージしながら相談していきたい。

アセスメントに得意・不得意があり、計画に偏りがあると思う。不足している視点など利用者を広い範囲でアセスメントできているかなど、専門分野のアドバイス受けたい。